

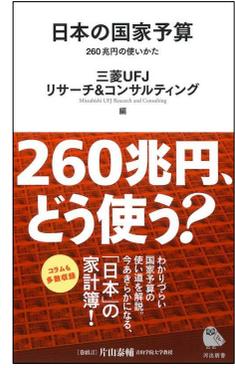
議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R7年4月(一般用)

『日本の国家予算～260兆円の使い方』 『「トランプ復活」で世界は激変する』

三菱UFJリサーチ&コンサルティング【編】
/ 河出書房新社 (2025/1)

島田洋一・古森義久【著】/かや書房 (2025/1)



総額260兆円とも言われる、いわば国の戦略図である「国家予算」。その複雑な内訳はどうなっているのだろうか？ 予算書の見方や政策との関係を丁寧に説明し、私たちの暮らしにどのように影響するのか、分かりやすく解説する。



ドナルド＝トランプ氏がホワイトハウスに返り咲いた。世界はどう変わるのだろうか？ 日本への影響は？ 大統領選の見誤りを振り返りながら、安倍晋三氏亡き後の日米関係において何が必須となるのかなど論じる。

『デジタル時代の情報発信のリスクと対策』

北田明子・弁護士法人レクシード 他【編著】
/ 東洋経済新報社 (2023/12)



ホームページやSNSなどでの情報発信につきまとうリスクやトラブル。法律違反になってしまう発信を防ぐ方法を基礎から詳しく解説！ ソーシャルメディアやYouTubeを活用する方に必須の1冊。

『文化としての保護司制度～立ち直りに寄り添う「利他」のこころ』

今福章二【著】/ミネルヴァ書房 (2024/10)



『保護司制度』は、犯罪者の立ち直りを助け、安全な地域社会の実現を目指す支柱となる制度。しかし社会の変化に伴い、その見直しが必要とされている。制度を論考し、誰も取り残されない地域共生社会実現のヒントを探る。

『移動困窮社会にならないために～新しいモビリティサービスへの大転換によるマイカーへの過度の依存からの脱却』

鎌田実・宿利正史【編著】/時事通信出版局 (2024/4)



自動運転や電動化など、モビリティは100年に1度の変革期にある。これから日本のモビリティにはどのような変革が起るのか？ マイカー依存から脱却し、誰もが自由な移動を確保できる未来を考える。

『ニセコ化するニッポン』

谷頭和希【著】/KADOKAWA (2025/1)



「ニセコ化」とは、人々が選択し集中した場所がテーマパーク化すること。現在、日本中で起きている「ニセコ化」により、元々の住民や利用者が排除される問題も起きている。Z世代ジャーナリストが、現代の都市と消費を論じる！

『今日も異文化の壁と闘ってます』

千葉祐大・Yuko【著】/三笠書房 (2024/11)



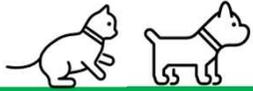
異文化の相手と接するとき立ちはだかる「違いの壁」。その壁を乗り越えるための、考え方、接し方、伝え方などを、できるだけ具体的に4コマ漫画で楽しく分かりやすく解説する。外国人材マネジメントのための頼れる入門書。

『思春期心性とサブカルチャー～現代の臨床現場から見えてくるもの』

岩宮恵子【著】/遠見書房 (2024/10)



思春期を生きる子どもたちが密接に関わる、アニメ・SNS・アイドル等のサブカルチャー。子どもたちとのカウンセリングで話題に出てくる「サブカル」とその背景から、今の子どもたちの姿を思春期臨床第一人者が読み解く。



▶ 「動物・ペットとの共生」に関する書籍

新着

『新版 日本の動物政策』

打越綾子【著】/ナカニシヤ出版(2024/5)



人と動物の関係をめぐる様々な政策、法律、制度とその運用について、最新の動向をふまえてトータルに解説する1冊。動物への配慮ある社会を実現するために読みたい本。

新着

『動物問題と社会福祉政策 ～多頭飼育問題を深く考える』

打越綾子【著】/ナカニシヤ出版(2022/3)



環境省「多頭飼育対策ガイドライン」策定の背景と内容をわかりやすく解説。多頭飼育問題を地域社会の課題ととらえ、社会福祉関係者と動物関係者の連携による解決を目指す本。

新着

『いぬとねこのためのペット防災BOOK』

Rina.【作・画】・鈴木正芳【監修】/三笠書房(2025/1)



災害時、ペットと暮らす飼い主にとっては、ペットの安全は人の安全と同じように大切な問題。避難時などの際に困らないために、人とペットがいっしょに備えるための知識が満載。

『人イヌにあう』

コンラート=ローレンツ【著】/早川書房(2009/7)



名著『ソロモンの指環』の著者、動物学者ローレンツ氏が、犬や猫に対する愛情から発した洞察を、自身の生活を彩った愛らしい犬・猫たちの肖像と共に綴る。愛犬家でなくとも必読の名作エッセイ。



図書広報委員がおすすめする一冊

『SHORT TIME 3.0 ～大谷翔平 新天地でつかんだ ワールドシリーズ初制覇』



著者：ビル=プランケット/徳間書店(2024年12月)



紹介者：矢野 英司 副委員長
自由民主党・富岡市選出・2期

今や世界中で注目されているスーパースターですが、本書を通じて彼の成功の裏側にある努力や哲学を深く知ることができました。

本書では大谷選手がどのようにして「二刀流」という前例の少ない道を切り開いてきたのか、その過程が詳しく描かれています。

彼は常に自分自身と向き合い、目標を明確にし、それに向かって着実に努力を積み重ねています。特に「目標達成シート」や「自己管理能力の高さ」についての記述は印象的でした。彼の成功は単なる才能だけでなく、徹底した計画性と努力によって成り立っているのだと実感しました。

大谷選手のように自分の可能性を信じ、継続的に挑戦し続ける姿勢を持ちたいと思います。彼の生き方は、野球に限らず、どんな分野の人にとっても大きな刺激となるでしょう。

▶ 次号では、相沢 崇文 委員長におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課（議会図書室）